



2025年6月期 第2四半期決算説明資料

株式会社クオルテック 【証券コード：9165】



01

当中間会計期間の売上高は、全体で前年同期比12.0%成長の1,928百万円。当社の主要取引先である車載業界の技術開発は電動化、電池関連を中心に各社旺盛な状況。特に電動化は半導体各社も巻き込んだパワー半導体の高効率化、小型化、低コスト化に向けた追求速度は緩むことなく、開発段階での信頼性試験における社外評価機関との連携が益々強化されている。そのような状況下で、当社は幅広い顧客ニーズにお応えすべく、信頼性試験増強を図り、九州地区への営業所展開をはじめとした営業体制強化を進めることで受注を着実に積み上げ、主力事業である信頼性評価事業は前年同期比11.1%成長。(パワーサイクル試験は32.1%成長)

02

売上総利益の前年同期比は各セグメントともに売上を伸ばし13.3%の増益となるも、営業利益は成長戦略に向けた拡販体制強化、次世代半導体を中心とした研究開発を積極的に進めたことで、人件費及び研究開発費の増加が影響したことから▲8.2%の減益。

03

通期業績予想に関して、主力事業である信頼性評価事業はパワエレクトロニクスセンターの立ち上げ早期化により更なる拡販体制が整ったこと、微細加工事業は既存分野の回復基調に加え、医療分野の引き合いが旺盛で、その他事業の受注も順調に推移していることより、通期では当初業績予想(売上高、利益とも)を据え置き。

目次

- 1 | 決算概要
- 2 | セグメント別売上高
- 3 | 営業利益増減内容
- 4 | 四半期売上高推移
- 5 | その他経営数値
- 6 | 通期業績予想
- 7 | 附録（注意事項）



1. 決算概要

前年同期より増収減益。売上高は+207百万円で売上総利益は増益となるも、成長戦略に向けた拡販体制強化や次世代半導体を中心とした研究開発の積極推進に伴う先行投資により営業利益は▲14百万円。経常利益は前年同期に発生した上場関連費用等が当期は発生せず▲0.1百万円。中間純利益は前年同期に発生した保険解約返戻金が当期は発生せず、加えて投資有価証券評価損を計上したため▲21百万円。

【単位:百万円】()内は売上高比

| | 24年6月期 2Q実績 | | 25年6月期 2Q実績 | | 前期差 |
|-----------|----------------|-------|----------------|-------|------|
| 売上高 | | 1,721 | | 1,928 | +207 |
| 営業利益 | (9.9%) | 170 | (8.1%) | 156 | ▲14 |
| 経常利益 | (9.0%) | 155 | (8.1%) | 155 | ▲0.1 |
| 中間 純利益 | (6.6%) | 113 | (4.8%) | 92 | ▲21 |



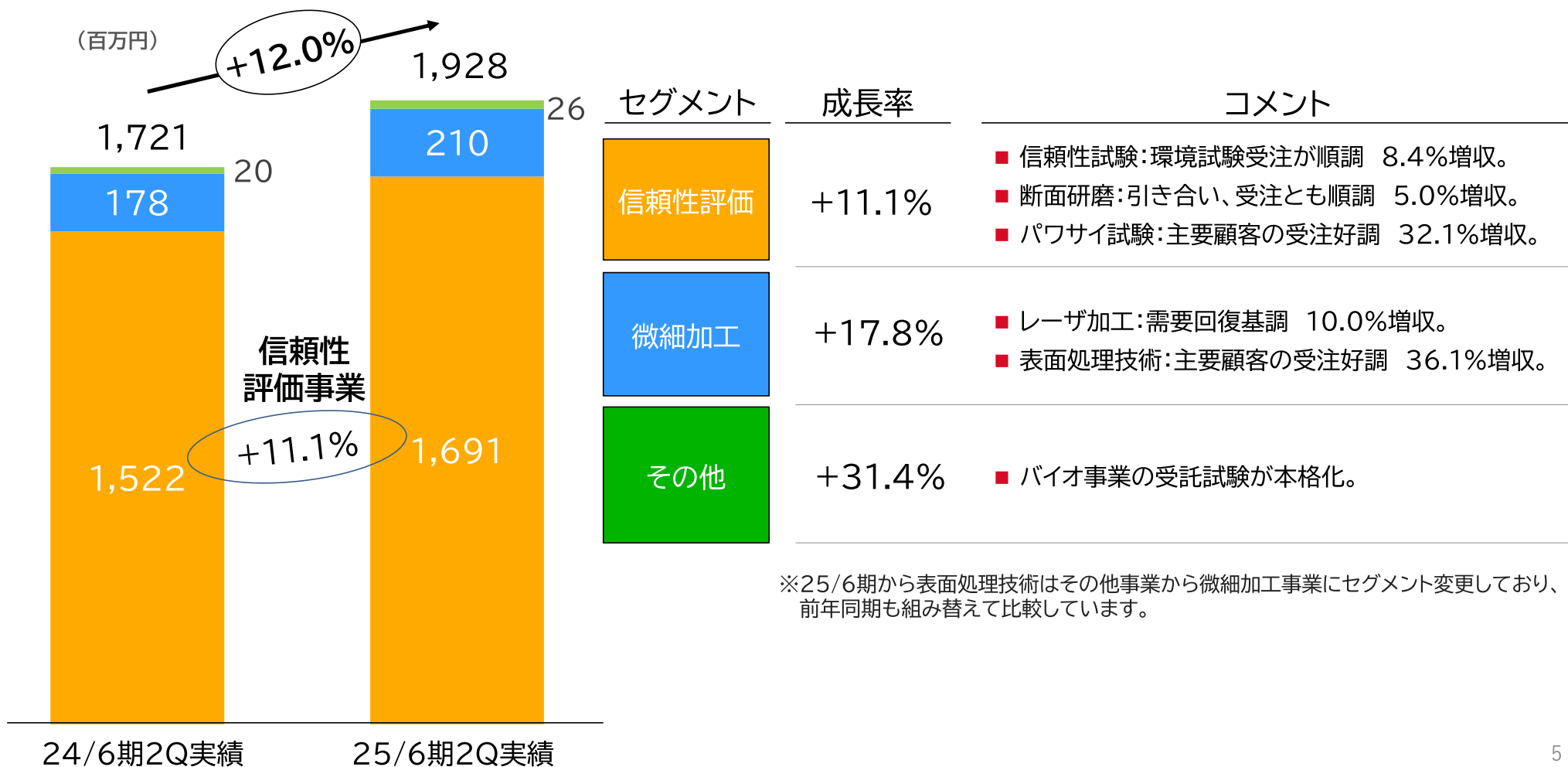
2.セグメント別売上高（対前年同期）

全社売上高は対前年同期比+12.0%成長。

主力事業である信頼性評価事業は、信頼性試験及び断面研磨の受注が順調。パワーサイクル試験は主要顧客からの受注が好調に推移し、対前年同期比+11.1%成長。

微細加工事業は、レーザ加工で需要回復基調。表面処理技術では主要顧客からの研究開発受注が好調に推移し、対前年同期比+17.8%成長。

その他事業は、バイオ事業の受託試験が本格化し、対前期同期比+31.4%成長。



3. 営業利益増減内容（対前年同期）

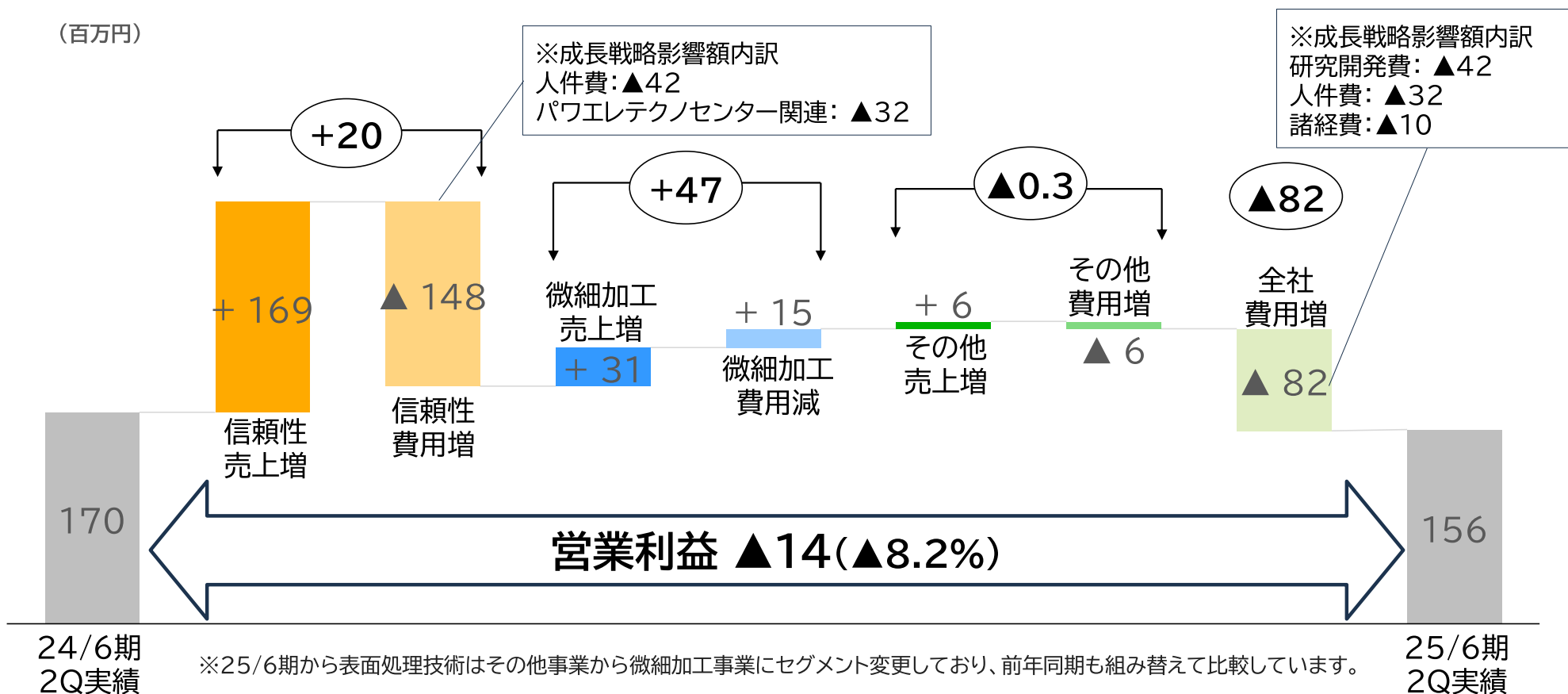
全社営業利益は対前年同期比▲14百万円の減益。

主力事業である信頼性評価事業は売上増も、成長戦略に向けた拡販体制強化及びパワエレクトロニクスセンター立上げによる影響で+20百万円の増益にとどまる。

微細加工事業は売上増と減価償却費の減少により+47百万円の増益。

その他事業はバイオ事業の受託試験の本格化で売上増も、費用増により▲0.3百万円の減益。

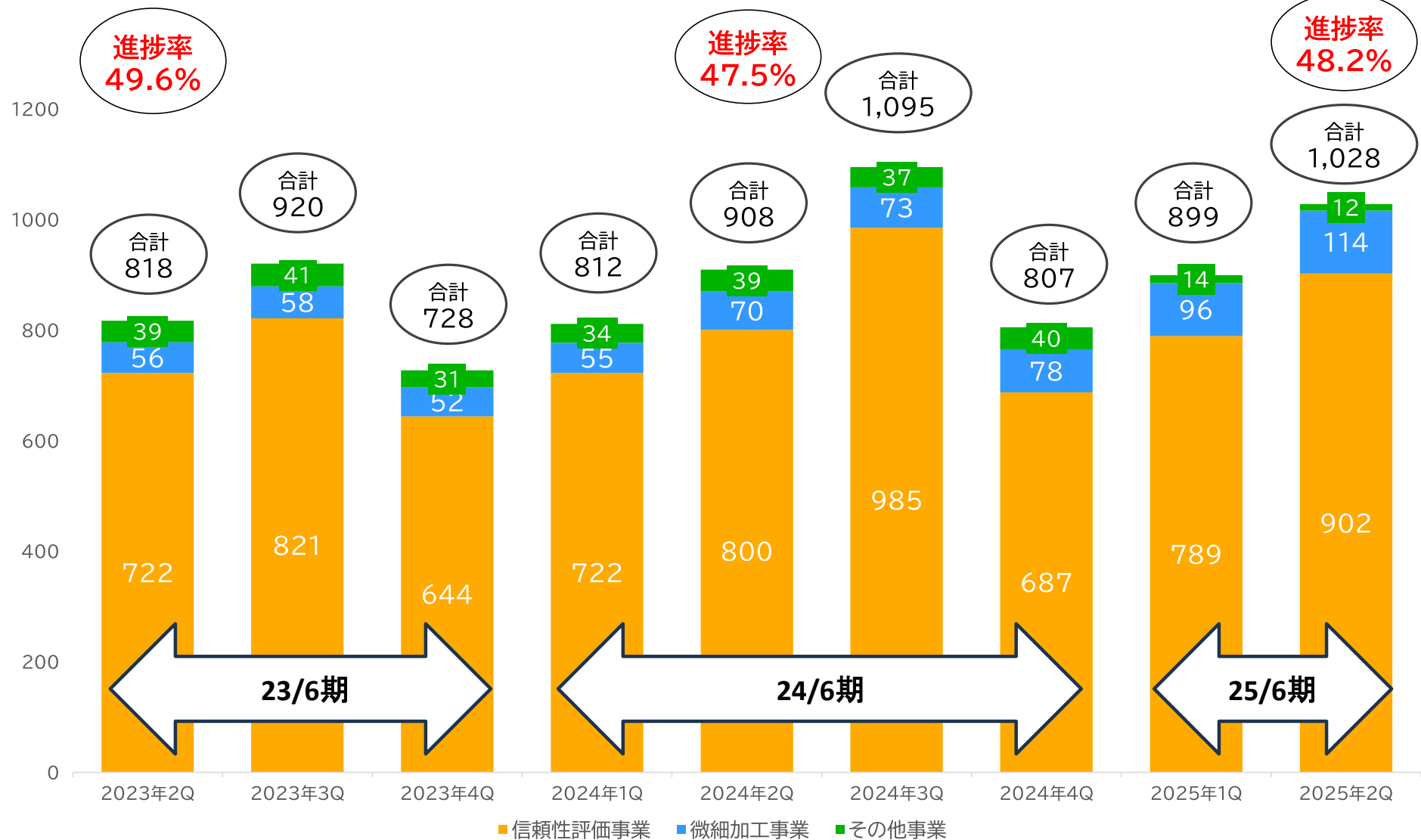
全社共通部門は営業を中心とした拡販体制強化、次世代半導体を中心とした研究開発の積極推進に伴う先行投資等により▲82百万円の減益。



4.四半期売上高推移（セグメント別）

第2四半期単独では初の10億円超え、累計では通期業績予想に対し、前年同期を上回る進捗率で順調に推移。

【単位:百万円】



※25/6期から表面処理技術はその他事業から微細加工事業にセグメント変更しております。



5.その他経営数値（対前年同期）

その他経営数値の状況は下記の通り。

【単位:百万円】（ ）内は売上高比

| | 24年6月期 2Q実績 | | 25年6月期 2Q実績 | | 前期差 |
|------------------|-------------|-------|-------------|-------|-------|
| 総資産 | | 3,888 | | 4,034 | +145 |
| 純資産 | | 3,000 | | 3,150 | +149 |
| 自己資本比率 | | 77.2% | | 78.1% | +0.9% |
| キャッシュ・フロー 増減額 | | 532 | | ▲364 | ※ - |
| 現預金残高 | | 1,796 | | 1,538 | ▲258 |
| 設備投資 | | 137 | | 433 | +295 |
| 研究開発費 | (2.5%) | 42 | (4.4%) | 84 | +42 |
| 在籍人員(人) | | 231 | | 253 | +22 |

※キャッシュ・フロー増減額は直近前年度末からの増減となるため、前期差は表示していません。



6.通期業績予想

通期業績予想は当初予想を据え置き。

主力事業である信頼性評価事業は拡販体制強化施策が予定通り進捗しており、受注状況も順調に推移。微細加工事業、その他事業の受注も順調に推移していることより、通期では当初業績予想達成を目指す。

【単位:百万円】()内は売上高比

| | 24年6月期 通期実績 | | 25年6月期 通期業績予想 今回(2/14) | | 前期差 |
|------|----------------|-------|------------------------------|-------|------|
| 売上高 | | 3,623 | | 4,000 | +376 |
| 営業利益 | (10.5%) | 381 | (9.6%) | 385 | +3 |
| 経常利益 | (10.1%) | 366 | (9.2%) | 370 | +3 |
| 純利益 | (7.5%) | 270 | (7.0%) | 280 | +9 |



7. 附録（注意事項）

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。

これら将来の見通しに関する記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予測に関する記述には、必ずしも既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

また、当社以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証していません。

assists your "thinking"

Qualtec

